学校番号	1015

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	国語表現改訂版　（大修館書店）						
副教材等	「国語必携ライトパーフェクト演習三訂版」（尚文社） 「基礎現代文　大学入学共通テスト対策版」（尚文社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書・現代文問題集・国語基礎知識問題集を適宜使用し、小テストを行って定着を図ります。
・問題集の予習・国語常識問題集の小テストの準備を課します。
・提出物の期限は守りましょう。

２　学習の到達目標

・進学・就職したのちに必要となる国語の基礎知識を使いこなすことができる。
・目的や場にふさわしい語句・文体を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d 読む能力	e 知識・理解
観点の趣旨	授業に積極的に取り組み、話をよく聞き、自ら考え、書き、話すことを通して、表現力を高めようとする意欲がある。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えを深める。	相手や目的に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深める。		伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて知識を身につけている。
評価方法	・行動の観察 ・提出物の点検 ・発表への取り組み	・行動の観察 ・発表の態度やできばえ	・提出物の点検 ・小テスト ・定期考査		・行動の観察 ・小テスト ・定期考査
	上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期	書いて伝える	・わかりやすい文を書くための基本的な決まりを学習する。 ・短文を書く。 ・現代語学習帳ことのは、サクセス小論文ノートの問題に取り組む。	○		◎		○	a:学習への取り組み。 c:正しく文章を書く力。 e:整った文章を書くための決まりの理解。語彙力・漢字力の習熟。	提出物 小テスト 定期考査
	小論文・レポート入門	・小論文書くための基本的な決まりを学習する。 ・課題を与え、小論文を書く。 ・サクセス小論文ノートの問題に取り組む。	○		◎		○	a:学習への取り組み。 c:正しく文章を書く力。 e:小論文の基本的な書き方を理解する。	提出物 小論文 小テスト 定期考査
	自己pRと面接	・自分の長所・経験をまとめ、効果的に自己PRをする。 ・志望先を仮定して志望動機を書く。 ・自己PR、志望動機の学習を踏まえ、模擬面接を行う。 ・現代語練習帳ことのはの問題に取り組む。	○	◎	◎		○	a:学習への取り組み。面接に臨む態度。 b:質問を正しく理解し、考えをきちんと述べる。 c:他者への評価を書く。志望動機を書く。 e:志望動機のまとめ方、面接受け方等の理解。	提出物 自己PR発表 模擬面接 小テスト 定期考査
二学期	声とコミュニケーション	・聞くこと、話すこと、伝え合うことを見直し、コミュニケーションについて新たな発見をする。 ・古今の優れた文章を音読・暗唱する。	○	◎	◎		○	a:学習への取り組み。 b:他者の意見を聞くことができ、自分の意見をきちんと伝えられる。 c:他者に対するコメントを的確に書く。 e:古今の文章を味わい、理解し、暗唱する。	提出物 暗唱発表 定期考査
	ショートスピーチ	・アイディアをメモし、ショートスピーチをする。 ・傾聴の態度を養う。	○	◎	◎		○	a:学習への取り組み。 b:自分の考えをわかりやすく伝え、他者の考えを正しく理解できる。 c:アイディアを簡潔にメモする。 e:スピーチの基本について理解する。	提出物 ショートスピーチ発表 定期考査
	会話・議論・発表	・場面にふさわしい言葉づかいを考え、ロールプレイをする。 ・敬語を使いこなす。 ・司会者などの役割を理解し、建設的な議論・会話をする。 ・サクセス小論文ノートの問題に取り組む。	○	◎	◎		○	a:建設的な会話をする姿勢や学習への取り組み。 b:他者の意見を聞いて議論を進める。 c:議論の流れを文章化する。 e:敬語法の習得	提出物 ロールプレイ 小テスト 定期考査

三学期	表現を楽しむ	・詩歌を鑑賞し創作する。 ・さまざまな通信文の形式を理解し、相手に応じた通信文を書く。 ・サクセス小論文ノートの問題に取り組む。 ・現代語練習帳ことのはの問題に取り組む。	○		◎		○	a:学習への取り組み。 c:正しく通信文を書く。 e:通信文の形式や書き方の理解。	提出物 小テスト 定期考査
	会話・議論・発表	・視覚的資料を使いながら効果的なプレゼンテーションを行う。	○	◎	◎		○	a:学習への取り組み。プレゼンテーションに臨む態度。 b:自分の考えをわかりやすく発表し、他者の発表を聞いて、その主張の内容を理解する。 c:構想文、評価表を的確に書く。 e:プレゼンテーションの基本を理解する。	提出物 プレゼンテーション 小テスト 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b: 話す・聞く能力
c:書く能力　　d：読む能力　　e：知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。